

# 女性ネットワークの会

## 桃山高で塗装教室

日本建築仕上学会・女性ネットワークの会(熊野康子主査)は12月16・17日の2日間、大阪市阿倍野区の桃山学院高校で、建築業の魅力伝えることを目的とした塗装教室を実施した。同校での塗装体験教室は今年で4回目。今回は課外活動として、理科の下村圭司先生と生徒約30人が参加、関西ペイントが協力し、塗料を提供した。1日目の作業のあと、トークイベントを実施。熊野主査は、建築業界では現在、DX化により生産性の向上をはじめ、働く人の待遇改善を推進していることを説明した。

### 建築の魅力を経験

1日目の授業では、塗装作業の手順や塗料の性質の説明のあと、グループに分かれ、塗装体験を行った。

塗装したのは普段使用している1階の下足入れ。1日目はまずサンドペーパーでさびを落とし、関西ペイントの低臭速乾型水性さび止め塗料「アクアマックスーDXⅡ」を使って下塗りした。生徒たちは指導員のアド

塗膜診断・塗り替え仕様選定システム  
ISO認定(ISO 13129)  
**DNT**  
塗膜診断システム  
**DNT** 大日本塗料

バイスを受けながら作業に取り組み、めきめきと腕を上げていった。塗装体験後は教室に移

動し、トークイベントを実施した。まず関西ペイントの坂口学法人営業部係長が今回使用した塗料を紹介。熊野主査は▽日本建築仕上学会・女性ネットワーカーの活動内容▽さまざまな建築の仕事▽建築におけるDX化などについて説明した。熊野主査は建築の仕事には現場だけでなく、建物の設計や建築材料などの研究開発、環境対策など様々な仕事があり、特に現在はDX化の推進に



1日目の作業では下足入れにさび止め塗料を塗装



作業の後、熊野主査が講演

より、従来のマイナスイメージを脱却し、ビジネスモデルの転換が進んでいることを強調した。次に、宮原悦子クレアールソシオ社長が「日常生活でのスマホやライダースキャナーの有効活用」のテーマでDX化の事例を紹介した。働きながら子育てをする女性が、時間を有効活用するには家事支援アプリが役立つ。また、DX化により仕事の大幅な効率化が可能になる。例えば、iPhoneに搭載されている「Lidarsキャナ

は撮影したものを3Dデータ化でき、3DCADに取り込め、CADから図面を起したり、設計に使うことができる。こうしたアプリの使い方はネット上で数多く紹介されている。

トークイベント終了後はアンケートを行い、最後に記念撮影した。2日目は仕上げを行い、関西ペイントの低臭OC多機能健康配慮型水性塗料「アレスエコクリン50F」を上塗りした。